

農業分野のカーボンニュートラルを支援するGreen Carbon株式会社
日本最大級の
「第1回 農業 脱炭素・SDGs EXPO AGRI GREEN TOKYO」に出展
-合計東京ドーム約1,500個分の水田面積を誇る「稲作コンソーシアム」や
海外で蓄積した農業向け脱炭素化スキームを公開-

Green Carbon株式会社（代表取締役：大北潤、以下Green Carbon）はこの度、2023年10月11日(水)～10月13日(金)に開催する「第1回農業脱炭素・SDGs EXPO」に出展することをお知らせします。

第1回 農業 脱炭素・SDGs EXPO
AGRIGREEN TOKYO

CO₂削減・有機農法・環境保全技術などが出展

◆Green Carbon社の出展について

本展示会は、2023年10月11日（水）～13日（金）に、幕張メッセにて開催される日本最大級の農業・畜産の総合展「第13回 農業WEEK」内の、持続可能な農業関連製品を取り扱う企業が集うイベントです。食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立の実現を目指す50社以上の企業が集結し、全国の農家や農業法人の活発な交流が行われます。

Green Carbon社は、加盟者全体で東京ドーム約1,500個分（約7,000ha）の水田面積を誇る企業・農家等の協議体「稲作コンソーシアム」の実績や海外で蓄積した農業向け脱炭素化スキームを発表するとともに、カーボンクレジットに関連する商談・セミナーなども実施いたします。

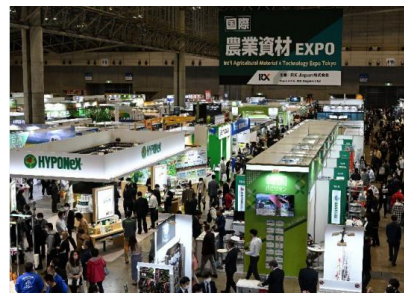
カーボンクレジット創出に取り組みたい農家様、連携を希望される企業様など、皆さまのご来場をお待ちしております。

◆Green Carbon 出展詳細

日時 : 2023年10月11日（水）～13日（金）

場所 : 幕張メッセ

ブース場所 : 第7ホール7-39（中央付近柱の隣）



◆出展詳細

- ・カーボンクレジット創出ソリューションや実績のご紹介
- ・稲作コンソーシアムのご案内
- ・申請、登録、販売までワンプラットフォームで完結するサービス「Agreen(アグリーン)」のご紹介
- ・環境配慮米の試食コーナー

※全日を通して、ブース・出展内容のご取材が可能です。

10月13日（金）10:00-12:00、代表取締役 大北へのご取材も可能となっております

◆展示内容

○稲作コンソーシアムのご案内

Green Carbonは2023年3月1日にJ-クレジットの運営委員会にて、「水稻栽培における中干し期間の延長」の方法論が新たに承認されたことを受け、日本国内でのJ-クレジット創出を目的に、農家、農業関連機関、企業、自治体から構成される団体「稲作コンソーシアム」を発足させました。コンソーシアムへの参画者が保有する水田を初期費用無料で登録いただきまとめてJ-クレジットに申請することで、農家の登録・申請工数を大幅に簡略化するご支援をさせていただいております。

9月末現在、加盟者の合計水田面積が約7000haに達し、今年度も実際に多くの農家様に中干しの延長を行っていただきました。本展示会では、稲作コンソーシアムの第2期先行会員も募集いたします。来年度に向けてカーボンクレジット創出に取り組みたい農家様、連携企業様はぜひ展示ブースに足をお運びください。

○ワンプラットフォームで完結するサービス「Agreen(アグリーン)」のご紹介

農家、自治体、企業等のカーボンクレジット創出量を試算するとともに、必要書類をAgreenのサービスサイトへアップロードすることで、複雑な申請手続きからプロジェクトの実施、クレジットの販売まで一気通貫で支援する画期的なサービスです。

今回の水田での方法論以外にも、バイオ炭の農地施用・牛のゲップのメタンガス削減・農薬削減等、幅広く拡大していく予定です。

Agreen (アグリーン) 公式サイト：<https://agreen.cloud/>

○環境配慮米の試食コーナー

展示会ブース内では、通常の農法で作られたお米と実際に中干し期間を延長して作られたお米の食べ比べ試食を実施いたします。

Green Carbonは、温室効果ガス削減だけでなく、環境配慮によって誕生したお米のブランディング・価格上昇・販売先の拡大に貢献することで、より立体的に農家様を支援できるサービス展開を目指します。

◆第1回 農業 脱炭素・SDGs EXPO (AGRI GREEN TOKYO) 概要

- ・名称 : 第1回脱炭素・SDGs EXPO
- ・会期 : 2023年10月11日(水)~13日(金)
- ・会場 : 幕張メッセ
- ・出展対象 : 暖房機、ヒートポンプ、空調機器、施設園芸資材、有機肥料、
畜産向け製品、自動運転技術、減農薬栽培、営農型太陽光発電システムなど
- ・来場対象者 : 農業法人・農家、農協、畜産農業法人、施工業者、資材店、新規参入企業、自治体など
- ・同時開催展 : 農業資材EXPO、スマート農業EXPO、6次産業化EXPO、畜産資材EXPO
- ・URL : <https://www.agriexpo-week.jp/hub/ja-jp/lp/ex-sdgs.html>

◆Green Carbon事業紹介

Green Carbonは、「生命の力で、地球を救う」をビジョンとして掲げ、カーボンクレジット創出（J-クレジット/ボランタリークレジット）、登録、販売までを一気通貫してサポートする事業を展開しています。その他にも、農業関連事業、環境関連事業、ESGコンサルティング事業なども展開しております。中でもメインで進めている水田のメタンガス削減によるカーボンクレジット創出PJでは、日本初でJ-クレジットの認証を取得し、現在約7,000haの水田農家と連携し、約14,000トンのカーボンクレジット創出を予定しています。また、クレジット登録・申請・販売までをワンプラットフォームで完結するサービス「Agreen(アグリーン)」を提供しており、クレジットの申請登録時にかかる手続きや書類作成などを簡略化し、クレジット創出者（特に農家さん）の工数を削減しています。

また、国内だけでなく、海外にも展開しておりフィリピン、ベトナム、インドネシア、カンボジア、バングラデッシュ、オーストラリア、コスタリカを中心に東南アジアから中南米まで、幅広い地域で事業を取り組んでおります。フィリピン、ベトナムでは現地の大学と連携し、水田のメタンガス削減プロジェクトの実証を進めております。オーストラリアでは、農地でACCUs登録に向けたプロジェクトを進めております。コスタリカでは、JICA(国際協力機構)と共に、農地貯留PJの実証を進めております。

◆関連リリース

【2023年3月10日】

5項目入力でGHG削減量や販売金額がわかるJ-クレジット創出量計測シミュレーションツールを開発
稲作由来のメタンガス排出量削減により270億円の市場価値を創出
<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000001.000117956.html>

【2023年6月20日】

カーボンクレジット共創プラットフォーム「稲作コンソーシアム」新規参画企業を発表
NTTコミュニケーションズ社、ウォーターセル社、ジャスミー社の3社が新たに加盟
<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000009.000117956.html>

【2023年6月29日】

Green Carbon株式会社 水田のメタンガス削減によるJ-クレジット創出の方法論において日本初第1号
案件プロジェクトとして承認
<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000012.000117956.html>

【2023年9月14日】

Green Carbon株式会社 第2期稲作コンソーシアム先行会員の募集を開始
<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000026.000117956.html>

●Green Carbon 株式会社

商号 : グリーンカーボン

代表者 : 代表取締役 大北 潤

所在地 : 東京都港区南青山3-1-3スプライン青山東急ビル6F

設立 : 2019年12月

事業内容 : カーボンクレジット創出版売事業、農業関連事業、環境関連事業、
その他、関連する事業、及び、コンサルティング

URL : <http://green-carbon.co.jp/>